

経営比較分析表（令和6年度決算）

茨城県土浦市 駅西駐車場

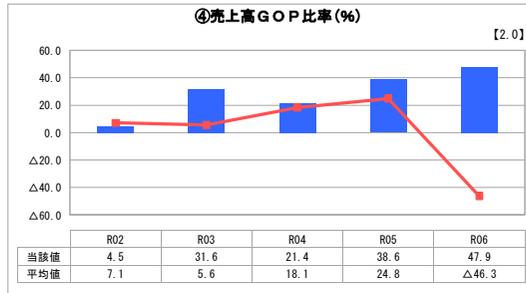
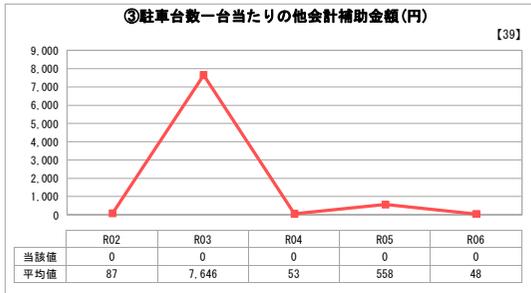
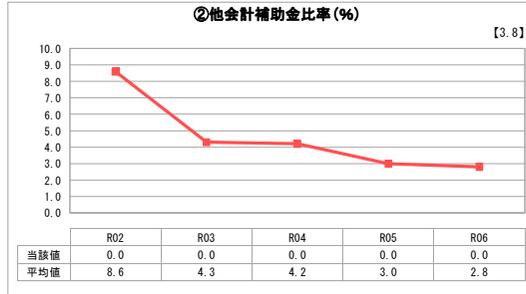
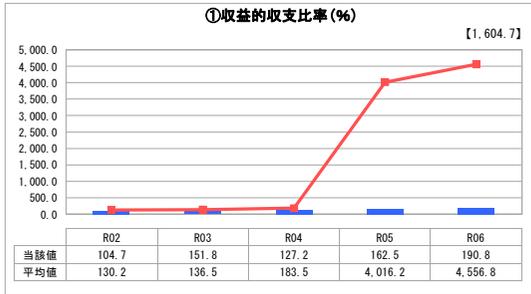
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	28	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	-	11,716
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
467	200	利用料金制

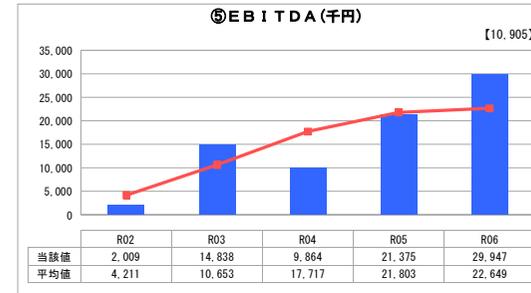
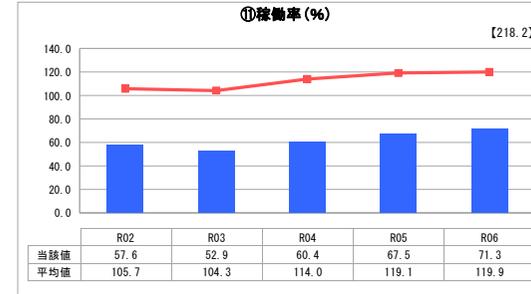
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

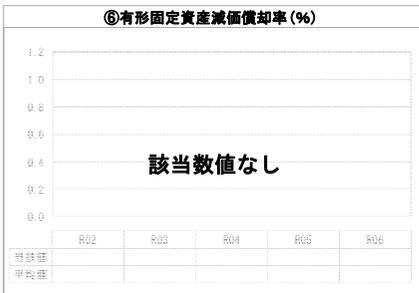
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

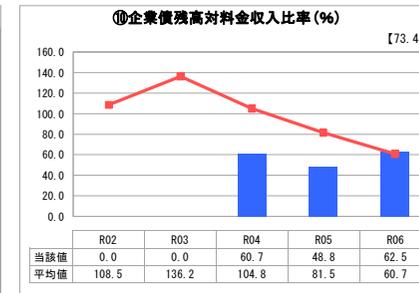
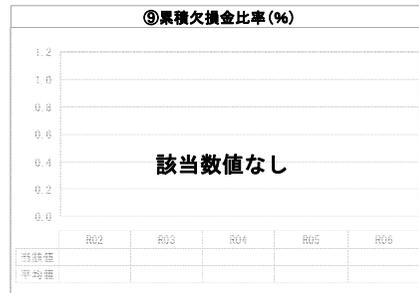


⑦敷地の地価(千円)

77,121

⑧設備投資見込額(千円)

202,100



分析欄

1. 収益等の状況について
 令和元年度に駐車場建設時の償還金の返済が終了して以降、平成28年度より収益的収支比率が100%を超える状態が続いている。
 他会計補助金比率が0%であることから、独立採算性が取れた運営ができています。
 売上高GOP比率、EBITDAの両数値が前年度と比較して上昇し、類似施設平均値と比較して高い状態にあることから、安定的かつ成長した経営を継続できていると判断できる。

2. 資産等の状況について
 供用開始から28年が経過しており、設備等が老朽化していることから、令和4年度に策定した駐車場長寿命化計画に基づき、計画的な設備投資を推進していく。
 設備投資の実施に伴い、企業債残高対料金収入比率が上昇しているものの、類似施設平均値と比較して同程度の水準であるため、運営に大きな影響を与えないよう、適正な償還を進めていく必要がある。

3. 利用の状況について
 稼働率については、令和2年度、新型コロナウイルスの影響を受け、定期契約及び時間貸利用が減少したことにより低下したものの、令和4年度以降にその影響が緩和し、現在は回復している。
 加えて、令和5年度からは指定管理者制度を導入し、新たな利用者が増えたことで更に稼働率が向上している。しかしながら、依然として類似施設平均値と比較し低い状態にあることから、稼働率向上に向けた運営が求められる。

全体総括
 当駐車場においては、収益等の分析結果に基づき、安定的かつ成長している経営が行われていると判断できる。
 今後も長寿命化修繕計画に基づく計画的な設備投資を推進するとともに、引き続き指定管理者制度を活用し、適正な人員確保、営業費用の運用の下で、安定的な収入を確保できるよう努める。